

令和3年度 大阪府立福井高等学校 第1回学校運営協議会

日時：令和3年6月11日 14：30～15：00 授業見学（希望者）

15：00～16：00 協議会

場所：本校1階校長室及び授業見学教室

構成員：

<協議会委員>

勝部 幸	元福井高校校長
米澤 恵子	元茨木市立福井小学校長
塩田 寛	福井地区自治振興会
福田 正幸	茨木福祉健康部 支援員
福山 秀子	本校PTA会長
増野 浩典	茨木市立彩都西中学校長（「福井高校を育てる会」会長）

<事務局>

内田 正俊	校長
原田 信尚	教頭
太田 真希子	首席
川上 郁恵	教務部長
中川 誠寛	生徒指導部長
曾根 康介	進路指導部長
内田 牧	活動支援部長
野村 達記	地域連携主担

配布資料：

- ・授業向上PT計画について（資料1）
- ・学校経営計画及び学校評価について（資料2）
- ・入学者選抜及び退学者数について（資料3）
- ・入学者の状況と本校の位置について（資料4）
- ・38期生の新入生アンケートより（資料5）
- ・生徒指導の状況について（資料6）
- ・部活動加入状況について（資料7）
- ・進路実績と希望調査（資料8）
- ・活動支援部（人権教育）について（資料9）
- ・多文化共生プロジェクトについて（資料10）
- ・総合学科委員会について（資料11）
- ・広報活動方針について（資料12）

内容：

0. 授業見学（1年保健、1年コスモス数学Ⅰ、2年基礎からの英語、2年環境科学）

1. 校長挨拶

2. 会長挨拶

3. 事務局より活動報告

・授業向上PT計画について（資料1）

→本年度目標、年間スケジュール

・学校経営計画及び学校評価について（資料2）

→学校教育自己診断の肯定的回答 80%、卒業生アンケート「総合学科で学んでよかった」90%をめざす。加えて、本校の強みであり特徴である多文化。コロナ禍で留学に行けない中、本校ではリアルに日々国際交流。中学校への出前授業を含め、さらに盛り上げていく。

・入学者選抜及び退学者数について（資料3）

→志願者数の減少で1年生は4クラス。一方、生徒数の減少が結果として手厚い指導につながっており、令和2年度転退学者数は減少している。

・入学者の状況と本校の位置について（資料4）

→1年生の出身市別の割合を見ると、例年通り茨木市が多数。中でも「福井高校を育てる会」の中学校が茨木市の9割というのが今年度の特徴。

・38期生の新入生アンケートより（資料5）

→福井高校に魅力を感じて入学している生徒が増加。入学にあたって総合学科を理由に挙げる生徒が半数。一方で、高校卒業後の進路を未定としている生徒が50%。様々な授業が選択できる総合学科の強みとドリカム授業を活かし、進路を考えさせていきたい。

・生徒指導の状況について（資料6）

→今年度の方針、各学年の様子。全体として落ち着いている。

・部活動加入状況について（資料7）

→新入生の仮入部の時期に緊急事態宣言が出され、活動ができず。入部したいと考えている生徒へ、夏休みにむけて加入を促していく。

・進路実績と希望調査（資料8）

→35期生の進路実績報告。就職はコロナ禍で厳しく、1次では55%の決定。進学については新制度ということもあり、チャレンジさせた。最終的には進路決定率は88%。36期生は進路希望調査を行い、これから指導が始まっていくところ。

・活動支援部（人権教育）について（資料9）

→誰もが「自分と他者を認める」を合言葉に、学年が方針を立て、学習を進めていく。また、外部機関とも連携し、学校外での居場所づくりについても積極的に取り組んでいく。

・多文化共生プロジェクトについて（資料10）

→合計43人。今は7月の日本語能力試験やワイワイトークに向けて頑張っている。

・総合学科委員会について（資料11）

→新カリに向け、検討中。教員数減でも対応できる体制を整えていかなければならない。

・広報活動方針について（資料12）

→今年度のスケジュール

4. 質疑応答・意見

【入学者選抜について】

(委員) 地元にとっては本当に必要な学校。生徒数は確かに減っているが、地元がこれだけ来ている。福井ならではの部分のアピールをさらにしてほしい。

(学校) コスモスの実績をアピールするとともに、定員割れではなく、交通不便地の学校としてはそもそも定員数が多いということも主張していきたい。地元にとって必要な学校として、教員数の減があったとしてもより良い教育を実行可能な学校体制を作っていく。

(学校) コスモスの出前授業はコロナ禍で昨年度は減ってしまったが、今年度もリクエストが来ている。積極的に発信していく。

【外部機関との連携について】

(委員) ゆったりカフェはどのような様子か。

(学校) 利用メンバーは固定されつつあり、毎回 20 名前後。4 階というのもあってほぼ 1 年生。スタッフが廊下でも声掛けをしてくれている。

【授業を見学して】

(委員) 以前、授業を見学した時よりしっかり授業を聞いていると感じた。特に 1 年生はこの前まで中学生だったのかと思うほどで、今後は楽しみ。

(委員) 今まで見学した中で一番落ち着いている。ただ静かにしているのではなく、授業に向き合っている。また、授業向上 PT の成果でもあるだろうが、先生方の授業が変わってきている。作業が必ずあり、先生の努力が子どもを落ち着かせていると感じた。1 人 1 台 PC 導入後の授業も見せてもらいたい。ただ、PC が入ることで先生方の仕事量が増えるのではと心配。

【広報活動について】

(委員) 高槻からのアクセスが案外いい。高槻の方へもぜひアピールを。

【学校体制について】

(委員) 教員の定数減での総合学科は厳しい。生徒大事で頑張る先生だからこそ、健康も心配。府がどれだけ頑張りをくみ取ってくれるかが気になる。

(学校) まず、先生方の勤務時間数を減らしていかなければいけないので、周囲へ発信しながら協力しあう体制をしっかり構築していく。また、茨木市の子ども若者協議会に入ったことで、生徒のケース会議もできているなど、外部との連携や支援体制の強化にも取り組んでいる。

【進路指導について】

(委員) 大学にもたくさん進学していることを発信するとともに、大学進学希望者を早くから集めて、意識を高めあう部活動的な取り組みをぜひやってほしい。

(学校) 大学生のインターンシップを受け入れている。身近なお手本として、感じ取ってくればいいと思う。総合学科特別推薦なども活用しつつ、うまく指導していきたい。

【全体を通して】

(学校) 本日はいただいたご意見を具現化していけるよう、様々に取り組んでいく。